

2022年度 第2回「難病ふれあい教室」 ～難病を相棒に就労を考える～ のご案内

難病であっても働いている難病患者さんはたくさんいらっしゃいます。難病生きがいサポートセンターには、体調が落ち着いて新規就労を考える方や、就労中に発症して仕事をどうしようかと悩む方などからの相談があります。どちらにしても、“働き続けることの大変さ”を感じている方は多いのではと推察します。

そこで、今年のおふれあい教室では、関東で数多くの難病・長期慢性疾患患者の就労に関する相談支援を経験されてきた**中金竜次さん**を講師にお招きしてご講演いただき、ご参加のみなさんと一緒に「**難病患者が働き続けるためのヒント**」を考えていけたらと思ひ企画しました。



難病支援に関連するSDG's



ながかね りゅうじ
講師 **中金 竜次 氏** 就労ネットワークONE代表

2013年より神奈川県の難病患者就職サポーターとして2019年まで勤務。その間、病気を開示しながら就職される方や障害者手帳を取得して就労する方々の相談を年間約900件対応。また、全国のサポーター代表として、一億総活躍国民会議懇談会に参加。令和元年より難病患者・長期慢性疾患患者の就労支援・地域連携のネットワークづくりに携わる「就労支援ネットワークONE」をスタート。現在、労働者・企業双方の就労・雇用相談、TV「おはよう日本」「シブ5時」(NHK)「生きるを伝える」(TV東京)・新聞(中日新聞)などメディアにてコメント提供などを行うとともに、難病患者の就労及び雇用に関する当事者、支援者、事業者を対象としたセミナーや研修を全国で多数おこなっている。(岐阜県出身)

開催日：10月2日(日)13:30～15:30【ハイブリッド開催】

内容：「**難病患者のキャリアの持続を考える**」
～治療をしながら働きつづける患者の今と未来～
*講演の後、中金さんを囲んでみんなで“しゃべり場”

会場：OKBふれあい会館(302会議室) & オンライン

定員あり：会場50名・オンライン50名

Zoomを使ったオンラインでの参加と会場での参加を選択するハイブリッドで行う予定。事前予約必要。

お申し込み・お問い合わせ

Googleフォームからのお申し込みもできます

参加無料・要予約
締め切り：9月26日

岐阜県難病生きがいサポートセンター
岐阜市下奈良2-2-1 福祉農業会館 3階

<https://forms.gle/P4jfl65tjvBRCS9o8>

☎:058-273-0870 ・ ✉Email:sodan.kng@gifu.email.ne.jp

